

[特集]

路面電車/LRT

人と環境にやさしい乗物

かつて街の主角として市民に親しまれた路面電車は、戦後のモータリゼーションの中で徐々に姿を消し、今では昭和初期の路線延長の1/6を残すのみである。

欧米では20世紀の末頃から路面電車が見直され、LRT(Light Rail Transit=軽快電車)として再登場している。街のシンボルとなっているLRTも多い。

わが国でも最近になって熊本市や広島市などで、スマートな低床車両が導入されて脚光を浴びているが、路面電車が復活したところはまだない。

単なる懐古趣味で復活を云々してはいけない。路面電車を他の交通機関と連携・補完させ、人と環境にやさしい街づくりの装置にしていくことが重要だ。

(本号担当主査: 永野光三)